

60年の歩みを振り返る 「田原洋菜部会設立60周年記念式典」開催

JA愛知みなみ田原洋菜部会は、今年で設立60周年を迎えたことを記念して、10月9日に取引市場をはじめとした関係者を招き「田原洋菜部会設立60周年記念式典」を開きます。式典を開くことにより、部会のこれまでの歩みを振り返り、関係者に感謝するとともに、さらなる部会の発展を目指します。

田原洋菜部会では、ブロッコリー・葉付きブロッコリーを主力にリーフ系レタス、セルリー、レッドキャベツ、玉レタス、カリフラワー、うずまきの8品目の洋菜を栽培しています。特に主力のブロッコリーは、全国有数の出荷量を誇り、10月上旬から翌年6月中旬頃まで切れ目なく出荷します。



JA愛知みなみ田原洋菜部会
Life with Green!

---田原洋菜部会の概要（※出荷量についてはR6年度実績）---

●設 立 日	1966 年（昭和 41 年）		●部会員数	206 名	
●出 荷 量	903,111 ケース （約 7,297 トン）				
品目別	ブロッコリー	2,570 トン	／	葉付きブロッコリー	1,906 トン
	リーフ系レタス	745 トン	／	セルリー	954 トン
	レッドキャベツ	724 トン	／	玉レタス	62 トン
	カリフラワー	315 トン	／	うずまき	21 トン
●出 荷 先	京浜、中京、関西、北陸市場				

《記念式典の詳細》

日 時：令和7年10月9日（木） 17：00～

場 所：華山会館レセプションホール（田原市田原町巴江 12-1）

【内容】

1. 開会の辞
2. 長神寿敏部会長 あいさつ
3. 鈴木照彦代表理事組合長 あいさつ
4. 来賓祝辞（山下政良田原市長 他）
5. 概要及び歴史の紹介
6. 来賓紹介
7. 閉会の辞

【参加予定者】

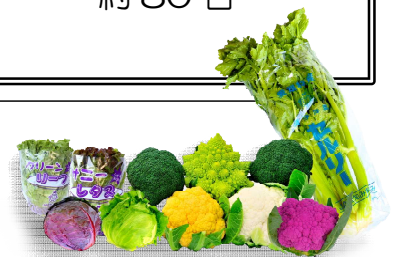
《来 賓》	田原市長	山下 政良 氏
	取引市場	13 社
	関係機関	18 社
《JA 愛知みなみ》		
	代表理事組合長	鈴木 照彦
	役職員	16 名
	部会員	約 80 名

＜問い合わせ先＞

※取材を希望される方は事前に下記連絡先までお願いします。

JA 愛知みなみ 総合企画部 組合員課 担当：尾川

T E L：0531-34-0375 携帯：080-4581-4822



Life With Green

田原の美味しい野菜をみなさまのもとへ

田原洋菜部会 創立 60 周年記念式典

令和7年 10月9日 場所 / 華山会館レセプションホール



田原洋菜部会創立60周年記念式典 次 第

第 1 部 記 念 式 典

1. 開 会 の 辞
2. 部 会 長 あ い さ つ
3. 農 協 あ い さ つ
4. 来 賓 祝 辞
 - 1) 田原市市長
 - 2) 東京青果
5. 概 要 お よ び 歴 史 の 紹 介
6. 来 賓 紹 介
7. 閉 会 の 辞

———— 休憩(15分) ————

第 2 部 懇 親 会

1. 乾 杯
2. 閉 宴 の 辞

田原洋菜部会 60周年記念式典 来賓者名簿

ご 来 賓	役 職 名	氏 名
田 原 市	市長	山下 政良 様
田原市役所 農林水産部	部長	彦坂 英美 様

関 係 市 場	役 職 名	氏 名
東京青果（株）	常務取締役	戸塚 幹夫 様
東京シティ青果（株）	取締役	吉守 隆美 様
東京多摩青果（株）	執行役員	尾高 邦光 様
東京新宿ベジフル（株）	常務取締役	杉原 靖 様
横浜丸中青果（株）	常務取締役	岡本 光一 様
セントライ青果（株）	副部長	相木 勇二 様
（株）R&Cながの青果 長野本社	グループマネージャー	小林 宗彦 様
大一青果（株）	代表取締役 社長	高橋 伸育 様
千葉青果（株）	代表取締役 社長	渡邊 英大 様
（株）R&Cながの青果 松本支社	統括マネージャー	柳澤 岳志 様
東一川崎中央青果（株）	取締役	佐久間 茂 様
三重V F（株）	常務取締役	渡邊 勝之 様

関 係 機 関	役 職 名	氏 名
J Aあいち経済連	課長	鷹見 航多 様
J Aあいち経済連	主任	小林 洸平 様
愛知県田原農業改良普及課	課長補佐	加藤 政司 様
愛知県田原農業改良普及課	主任	中野 瑞己 様
東海ローディング（株）	課長	中村 淳 様
渥美陸運（株）	代表取締役 専務	太田 良昭 様
（株）藤城運輸	取締役	原田 守 様
トヨタネ（株）	代表取締役 社長	川西 裕康 様
トヨタネ（株）	種苗部長	内藤 寛文 様
トヨタネ（株）	担当	渥美 唯奈 様
タキイ種苗（株）	田原試験地 農場長	小松 孝行 様
タキイ種苗（株）	課長	妹尾 直哉 様
（株）サカタのタネ	課長	春日 大樹 様
（株）サカタのタネ	支店長	久保田 維明 様
（株）サカタのタネ	担当	後藤 憲 様
横浜植木（株）	次長	山本 兼也 様
横浜植木（株）	担当	池田 知優 様
（株）中神種苗店	代表取締役	中神 孝仁 様
（株）中神種苗店	常務	中神 哲也 様
（株）中神種苗店	担当	唐澤 拓朗 様
（株）野崎採種場	取締役	野寄 裕二 様
ヴィルモランみかど（株）	国内営業本部長	林 一博 様
ヴィルモランみかど（株）	担当	間瀬 満 様
ヴィルモランみかど（株）	開発担当	李 柱英 様
朝日アグリア（株）	営業課長	島田 政男 様
双葉紙業（株）	専務取締役	水野 孝康 様
（株）プロリード	育種部 課長	佐々木 浩之 様
（株）プロリード	開発営業部 主任	近藤 隆臣 様
（株）ベルグリーンワイズ	グループ長	竹内 秀典 様
（株）ベルグリーンワイズ	営業	松尾 慎一 様

田原洋菜部会紹介

1.管内概要

当JAは、愛知県の南部、渥美半島に位置し、田原市管内として東は豊橋市、南は太平洋、西は伊良湖水道、北は三河湾に面している。
気象は、直接外洋に面しているため潮風による塩害を受けやすいが、暖流の影響で冬季も暖かく、年平均気温はおよそ16℃で降霜日数も極めて少ない。
降水量は、年平均1,700mm前後であり、冬季は北西の季節風が平均5m/秒と強いが寒気は比較的弱い。昭和43年の豊川用水の通水により、恵まれた気候と農業技術の進歩により、米、野菜、花き、果樹と多岐にわたり、特色のある農産物を供給しています。

2.洋菜栽培の概況

1) 令和6年度の洋菜部会

・部会員数	206名
・出荷数量	903,111ケース
・販売高	約22.7億円



2) 令和6年度品目別生産・販売状況

	面積(ha)	出荷量(c/s)	販売高(円)
・ブロッコリー大箱(9kg)	162.8	285,542	791,935,045
・葉付ブロッコリー(8kg)	139.1	238,250	646,109,875
・リーフ系レタス(5kg)	28.4	149,061	296,235,487
・セルリー(10kg)	15.8	95,414	238,614,718
・レッドキャベツ(10kg)	20.7	72,399	201,201,883
・玉レタス(10kg)	2.5	6,219	17,515,498
・カリフラワー(6kg)	13.4	52,488	83,133,578
・うずまき(8kg)	0.9	2,595	4,870,412

3) 令和6年度、指定市場13市場(販売会社)を中心に合計16市場に出荷している。
京浜各10社、中京4社、関西1社、北陸1社。

全体の作付品目は、ブロッコリー、葉付ブロッコリー、カリフラワー、セルリー、レタス、リーフ系レタス、レッドキャベツの7品目。

全圃場検査を実施しているセルリーは、その品質が高く評価され、安定した販売高を維持している。

またリーフ系レタスは栽培面積を拡大しており、業務用需要の増加に伴い、売上も順調に伸びている。

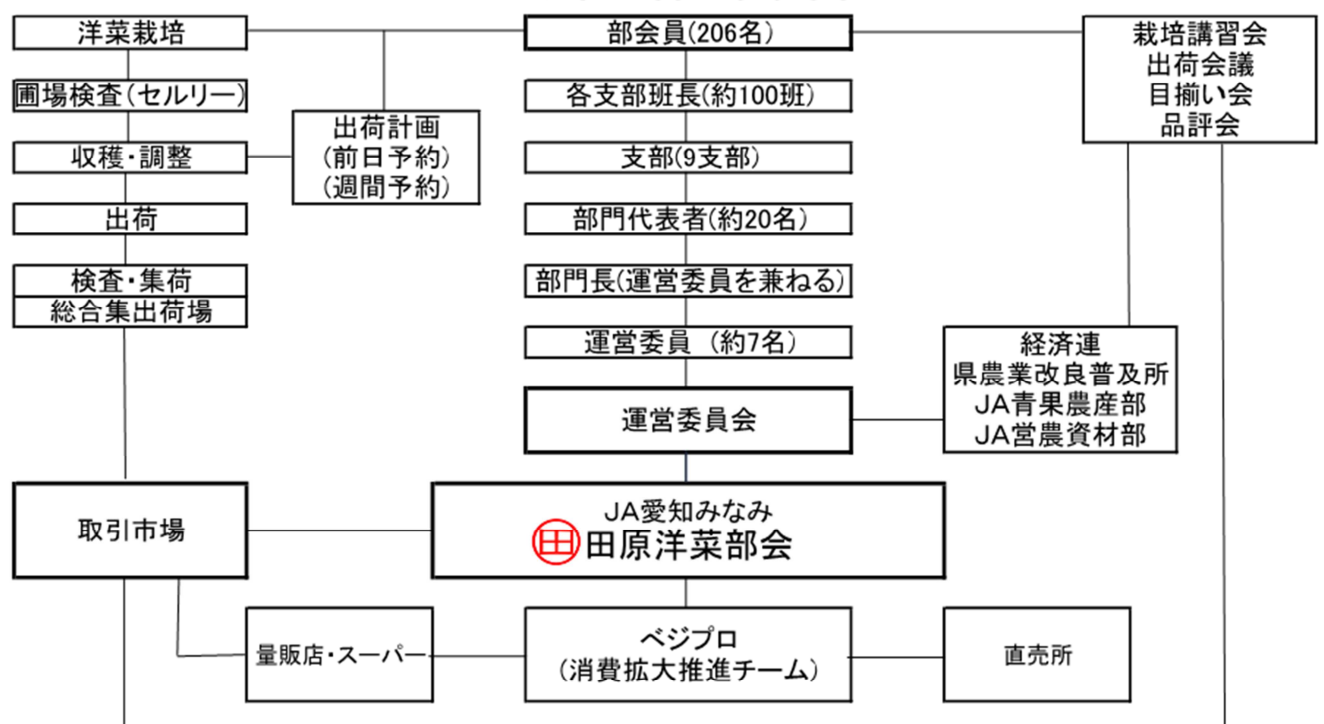
3.JAの概況(令和6年度)

・組合員数	8,901人	正 5,385人	準 3,516人
・役員数	29名	理事 23名	監事 6名
・職員数	523名		
・他生産品目	キク(花き類)	約198億	
	キャベツ	約95億	
	トマト類	約46億	

【主な沿革】

- 1945 年 セルリー栽培が始まる。当時は地区農協の合併前で、地域間の交流も少なかったが洋菜栽培者が増えるにつれ次第にグループ化、組織化が進む。
- 1955 年 田原町全体で洋菜栽培者は約 250 戸となる。中心品目のブロッコリーの出荷形態は小箱(3kg)縦詰め。
- 1966 年 農協の合併に伴い、**田原町農協洋菜部会が創立**。部会員は 289 戸で総販売高で 5 千万円程度。この時期に団結力、組織力を高めようと規約が作られ、これにより産地としての基盤もつくられることとなる。その規約は補足・訂正され現在まで続いている。
- 発足当時、部会での推奨作物として、セルリー、レタス、ブロッコリー、カリフラワー、レッドキャベツ、メキャベツ、ニンニクの 7 作物を取り上げ、部会員はそれぞれの経営に合わせて品目を選択し、栽培を行った。部会員数は部会発足 2 年目で 539 戸、3 年目には 671 戸と急増した。
- 1968 年 農協の統合により 10 支部となる。ハウス栽培が始まり、作型が広がる。
- 1970 年 部会員数が最高の 869 戸となる。
- 1980 年 新作物としてサニーレタスを導入。
- 1982 年 グリーンリーフを導入。野菜集団産地育成事業により真空冷却装置（4 t、2 連式）1 基導入して、鮮度維持出荷によるブランド力を増す。
- 1983 年 中国野菜を導入。
- 1988 年 野菜高度生産流通システム化事業により真空冷却装置（4 t、2 連式）1 基を追加導入。
- 1989 年 縦詰めの大箱（4kg）導入。
- 1993 年 輸入対策として葉付ブロッコリー(8kg)を全国に先駆け導入。
- 1995 年 部会発足 30 周年、ブロッコリー大箱の横詰め(5kg)を導入。作業性が格段に向上した横詰めと葉付はその後全国に広がり、ブロッコリー出荷形態の主流となる。
- 2001 年 渥美半島 3 町の J A が合併して販売高全国 1 位の「J A 愛知みなみ」が誕生。当部会としてはブランド維持のため、他の 2 町との統合はせず単独での運営を続けて現在に至る。市町村単位でのブロッコリー出荷量は全国一位となっている。

現在の部会組織図



総出荷量 (C/s)	100,000	220,000	350,000	350,000	550,000	500,000	600,000	600,000	607,329	623,978
販売高 (千円)	100,000	200,000	300,000	300,000	600,000	580,000	600,000	600,000	555,774	550,000
プロ出荷数量 (C/s)									234,182	
部会員数(人)	289	539	671	718	869	829	793	810	794	736
気象・災害	集中豪雨	異常天候	豪波干ばつ	豪波干ばつ		暖冬		寒波	7.8月豪雨	異常高温
主な出来事	部会創立	豊川用水一部通水	豊川用水全面	六連支那加入 セルリーハウス栽培検討	稲作転換事業開始	沖縄返還	レタス安定事業加入 セルリー1ヶ所集荷	石油事情悪化	プロコリー安定事業加入 日本農業賞奨励賞	10周年
部会長	-	-	-	-	-	-	-	-	鈴木 雄二郎	坂野 実

年 度	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年
総出荷量 (C/s)	609,167	829,947	1,210,000	957,609	1,174,640	1,441,868	1,695,489		2,735,537	2,447,453
販売高 (千円)	813,813	755,404	1,380,000	1,527,549		1,372,034	1,661,299		1,865,544	2,580,156
プロ出荷数量 (C/s)		328,840		413,904		784,000	1,034,430		1,847,280	1,485,913
部会員数(人)	735	705	735	748	754	747	777	800	812	815
気象・災害	寒波	暖冬	暖冬	台風被害			台風被害	高温、乾燥		豊作
主な出来事		冷却発芽装置設置 セルリー	水田再編対策	冷却装置開始 セルリー・カリアフラワー 安定事業加入		総合出荷場開設 サニーレタス・レッドキャベツ 新門開設 婦人部組織結成	プロコリー100万箱突破 レタス・プロコリー 定数詰め		中日新聞社主催の 農林水産大臣賞受賞	20周年 25億円突破
部会長	藤田 一男					-	中神 洋行			

年 度	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
総出荷量 (C/s)	2,832,144	2,624,415	2,750,477	2,773,799	2,195,915	2,685,623	2,374,468	2,228,745	2,279,962	1,661,895
販売高 (千円)		2,827,054	2,459,634	2,788,398	2,668,842	2,571,518	2,113,207	2,232,159	2,082,280	2,265,159
プロ出荷数量 (C/s)	2,077,456	1,963,969	2,161,744	2,184,382	1,676,772	2,189,283	1,898,023	1,783,421	1,788,828	1,192,419
部会員数(人)	817	791	755	717	677	624	594	550	529	510
気象・災害	暖冬	年内寒波 年明暖冬	年明暖冬	台風被害 19・20・21号	台風被害 19・20・21号	長雨	作柄良好 前進出荷	長雨・寒波	定植期 猛暑・集中豪雨	寒波 干ばつ
主な出来事	プロ200万ケース突破	プロ鮮度保持利 通年使用開始 野菜高産生産流通 システム化事業	プロ210万箱 総出荷量275万箱突破 真空予冷施設増設	プロ大箱導入 品種限定 総合上屋施設建設 保冷庫の増設	湾岸戦争	フェロモン防除 事業推進協議会発足	プロ大箱 品種限定を解除し 全品種に広げる	葉付プロコリー導入	阪神大震災 見舞救援物資輸送	30周年 プロ大箱横詰導入
部会長	中神 洋行	藤城 敏三	長神 勝雄				森下 礼司			

平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1,838,853	1,879,466	1,422,449	1,897,273	1,840,376	1,943,822	1,744,518	1,707,452	1,381,286	1,796,859
2,478,159	2,579,371	1,624,161	2,119,856	2,295,479	2,209,391	2,245,630	2,150,311	2,167,953	2,280,107
1,372,879	1,403,781	983,936	1,286,813	1,317,196	1,425,237	1,271,221	1,259,771	973,873	1,355,547
482	462	463	457	446	434	421	410	399	389
暖冬	集中豪雨	台風被害	異常高温 干ばつ	定植期 天候不順	作柄良好	年内低温	暖冬 (年内前進)	台風21・22・23号	渥美半島大雪
プロ大箱110万箱突破 O-157猛威	プロコロニアイン発表 販売高25億円達成	春プロ 春レタス 安定事業加入 3月集中出荷	セル苗は種 プラント導入	セルリー歯霊病多発	JA愛知みなみ発足	セルリーイオウ病 多発(年内露地)	農業散布管理帳 残留農薬分析開始	ハンズデーブル 折込式DB導入	40周年
山田 栄一					渥美 達朗				
鈴木 康裕									

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
1,984,538	1,713,446	1,974,674	1,662,436	1,774,439	1,849,598	1,946,633	1,759,474	1,711,552	1,900,398
2,223,156	2,202,915	2,354,046	2,039,802	2,219,219	2,611,835	2,653,147	2,425,593	2,448,379	2,490,460
1,508,253	1,077,728	1,510,044	1,243,066	1,358,865	1,434,355	1,506,648	1,345,721	1,271,370	1,425,626
381	369	360	345	336	329	319	313	305	292
暖冬 (前進出荷)	年内の高湿乾燥 年明け低温	定植期長雨 年明け低温	10月台風 年明け低温干ばつ	夏猛暑 年明け低温干ばつ	台風15号	豊作傾向 台風17号 TPP	夏猛暑 台風18号 台風19号 GAPへの取組み	秋高温 年内出荷増	暖冬 (前進出荷)
ポジティブリスト導入		地球温暖化問題		東日本大震災				葉付プロ箱門発足 カリフラワーオレンジ導入 カリフラワーパープル導入	50周年
小林 登					河合 太一郎				
広中 勇					岡本 潔				
富田 信茂									

平成28年	平成29年	平成30年	平成31年・令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
1,712,945	1,604,544	1,567,839	1,757,624	1,730,786	1,681,472	1,695,050	1,626,946	903,111	
2,429,986	2,818,162	1,869,474	1,968,521	1,813,977	1,903,828	2,015,659	2,024,204	2,279,960	
1,267,791	1,172,456	1,139,305	1,291,173	1,270,445	1,206,066	1,228,065	1,185,908	497,585	
281	267	253	243	239	236	231	220	206	
10/14～長雨 台風21・22号	暖冬 台風24号	暖冬 JA東京アグリパーク インスタ開始	暖冬 JA東京アグリパーク ホームページ ベジプロ設立 市場まつり参加	暖冬 新型コロナウイルス	暖冬 新型コロナウイルス カリフラワーグリーン導入	暖冬 道の駅よはし消費宣伝 リーフ系緊急供給開始 セルリー顔見え 真空予冷装置更新	暖冬 プロ20玉規格導入 道の駅よはし消費宣伝 JA東京アグリパーク	低温・干ばつ	
折込式DB見直し 大箱プロPプラス 葉付オーラパック カリフラワー導入	JA東京アグリパーク 鉄腕ダッシュプロ放送 遊藝期2回受け 葉付通年フィルム	JA東京アグリパーク インスタ開始	JA東京アグリパーク ホームページ ベジプロ設立 市場まつり参加	新型コロナウイルス	新型コロナウイルス カリフラワーグリーン導入	道の駅よはし消費宣伝 リーフ系緊急供給開始 セルリー顔見え 真空予冷装置更新	プロ20玉規格導入 道の駅よはし消費宣伝 JA東京アグリパーク	加工プロ導入 プロコロニアの日 記念日巻録2月6日 JA東京アグリパーク 道の駅よはし消費宣伝	60周年記念式典
加藤 由貴夫					河合 康司				
彦坂 真					鈴木 隆文				
長神 寿敏									



JA愛知みなみ田原洋菜部会
Life with Green!



写真提供：東京青果(株) 毛塚

守る品質 築く信頼 一人ひとりが 田の力

